

(様式第3号)

企業・団体名 (

※記載例を参照の上、ご記入ください。
蓼科高原バラクライングリッシュ
ガーデン

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の場 合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得証拠があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらに理由を記入）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14			
1	人 権 ・ 労 働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している（研修の実施、相談窓口の設置）					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			・毎日をノー残業デーとすべく、業務の分担や応援体制を毎日の朝礼、夕礼で共有できている								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			・英国人ガーデナーを雇用（25年以上勤務）毎月の定例会で意見聴取している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・所属長による各部署の日々の安全衛生に関するチェック教育は就業規則にも定められており、その精度を上げるため、安全衛生担当者（管理部）による週2回のパトロール、確認チェックを月1回実施			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）		【予定】	エフアンドエムクラブ（外部機関）メンタルサポート電話相談窓口にて、随時カウンセリングを受けることができる体制を整備 【予定】メンタルヘルスに対応した休職規定などを整備する			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・複数の女性が管理職に就き活躍している ・高齢者雇用を推進					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			・市場視察や海外研修、職務や役割に応じた外部セミナーへの参加の機会を提供				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）		【予定】	パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働、同一賃金等の原則に沿った体制の整備、対応を行う					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			健康診断を義務付け、全額会社負担としている。			3					8									
11	環 境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			食品廃棄物の量を、提供量から適正化し、食べ残しなどによる廃棄ロス削減のための計画を策定している。											11.6	12.4			14.1		
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			電気使用量の見える化を図り（節電モニターの導入）、使用量を月報化し、電気使用量の削減に取り組んでいく							7.3							13			
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			社有車を順次ハイブリット「車」に入替えている。								7.2 7.3					12.4	13.3			
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			植物多様性を導入し生態系を理想的に確立し、多くの鳥が飛来する環境に努め、薬剤（殺虫剤など）の使用を極力抑制している。			3.9			6.3						11.6	12.4				

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (※などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらに理由を記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
																				
15	環境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・ イングリッシュガーデン＝植物多様性であり、生物の多様性や生態系を保全するものである ・ また個人宅や公共商業施設にイングリッシュガーデンをデザイン、普及						6.6								
16		【3Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			育苗ポットの回収、フラワートレーを花市場に返却することで、リユースに勤めている												12.5		14.1
17		【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ 自社の水源を含む水の使用状況を把握し、灌水使用量の削減に取り組んでいる						6.4 6.6								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)	【非該当】					3.9			6	7					12	13.3	14
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			「地球環境と心の癒し」を当社の憲章として掲げ、生物多様性により持続可能な循環を推進している												12.6		
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ 社有車（役員車）にハイブリット車を導入している。							7.2						13	
21		【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			天然有機肥料（牛糞など）を使用、また落ち葉から堆肥を作り、循環に努めている												12.2	13	14
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・ 汚職・贈収賄の禁止について社内規定（就業規則やコンプライアンスに関するルール等）などで定められている														
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)		【予定】	【予定】・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施する														
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・ 特許、商標等知的財産権の取得・管理している。							8.2 8.3	9						
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・ 顧客情報の閲覧はパスワードを必須とし閲覧に制限を設けている。社内研修を行い周知徹底している。今後さらに精度を上げるためマニュアルの整備を進めていく。														
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)	【非該当】																
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			環境をよくする会社を重点取組み先とするなど、サプライヤーの選別を慎重に行っている。					5		8		10		12	13	14	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	検討中			3					8	9	10				

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらに理由を記入）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
																				
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。			3.9									12.4		
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			クレーム処理はトップ判断とし、担当を任命するなど品質を保証する仕組みを構築している。朝礼、夕礼、従業員LINEグループでの情報共有を徹底。									9					
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			切花ではない根付き植物（持続可能）の組み合わせ「寄せ植え」の普及に努めている。						6						12	13	14
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			英国庭園を通じてBritain in Bloomの思想を普及し、環境、治安、コミュニティ、景観の向上、健康化を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			・地元地域や事業を展開する地域の自治体と交流する機会を設け、自社の事業がその地域に及ぼす影響等を把握している				4					9		11	12		14
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・イングリッシュガーデンを通じ、次世代を担う人材（学生・子ども等）への交流、育成機会を提供している。（保育の推進）				4							11			14
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）			・地域の食材の優先的利用を促進（レストラン＆ベーカリーでの原材料としての優先的使用、フードコートでの販売）								8	9		11	12	13	
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 （必須）			経営理念を明文化している、朝礼での社是社訓の唱和。								8	9					
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			・全体集会や朝礼、掲示板等で法令順守（コンプライアンス）の重要性を全社員に向けて発信している。														
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			社長が中心となり、観光、ガーデン、ファッション、フード、レストランなど、各ディビジョン長をCSR管理者として任命している。														
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			・自社が社会や環境に及ぼす影響についてステークホルダー（顧客、取引先、地域住民、行政等）と対話する機会や仕組みを設け、情報収集に努めている														
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）			天候など、自社にとって重要なリスクを特定することを徹底的に洗い出し、適切な対策を講じている。														
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			CSR方針＝社は社訓を社員に徹底														
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）			エフアンドエムクラブ（外部機関）と、災害時の事業継続計画を策定し、定期的な訓練を実施していく									9		11		13 13.1	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			同族内に後継者候補があり、後継者育成を進めている								8	9					

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレント州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定